

飯南町の強みである

「つながり」がまちの機能の

充実に生かされ、

住民やUーターナー者が

安心・快適に暮らしています。

特に健康づくり、教育環境、

生活基盤の整備の面では、

地域の「つながり」により

一層充実し、

飯南町で生まれ育ったことに

喜びをもつ住民が

多い町となっています。

今住んでいる住民にとって住みやすい生活環境を整え、
住民満足度の向上に取り組みます！

住民間での「対話」や
住民と行政の「対話」をさらに重視します！

小さなまちだからこそ可能な、地域で支え合う
福祉、教育、生活基盤の整備に取り組みます！

集落实態調査と夢の実現

集落实態調査を行い、各集落の特性に即した集落計画の策定を支援します。また、集落計画の実現のため、地域の主体的な活動を物心両面から支援します。

全世代型総合相談窓口の設置

飯南町保健福祉センターを「全世代型総合相談窓口」と位置付け、妊娠期から高齢期まで、あらゆる世代の保健・医療・介護・福祉のすべての相談や支援する体制づくりに取り組みます。

超高速通信網の活用

インターネットの接続率を高め、サテライトオフィス・シェアオフィスなどでの企業誘致や、医療福祉での見守り対策などの活用に取り組みます。

生活支援サービスの向上

除雪、草刈、消防など、地域生活に関わる細やかな仕事を担う団体を育成し、継続的な地域生活ができる仕組みを構築します。

住みやすいと
感じる
住民の割合

2019年 (R1年)

68%

2024年 (R6年)

80%

飯南町で
「結婚し、子どもを産み、
育てる喜び」を体感する
若い人が増えていきます。
これにより出生数、
年少人口も維持され、
現在の学校が
10年後にも存続し
親子で同じ学校を
卒業した人も多くいます。

保小中高一貫教育やキャリア教育など、
全国から児童・生徒が集まる魅力ある教育を推進します！

「地域ぐるみで子育てするまち」として、
子育て環境の充実と教育の魅力化を推進します！

学校と家庭、地域が協力し合い、
豊かな人間性を育みます！

子育て応援企業の支援

仕事と子育てを両立できる職場環境づくりに努める企業を認定し、子育てをバックアップする町内企業を支援します。

飯南高校の魅力化

積極的な生徒募集活動を行うとともに、生命地域学など特色ある教育を推進します。

生命地域教育(総合教育)の実施

飯南町の自然環境を生かした「森の保育所」「山の学校」など自然体験活動の開催、保小中高を通じて自然を学ぶカリキュラムづくりに取り組みます。また、地域の有識者・技能者・研究者などと連携した地域学習に取り組みます。

国際人材の育成

英語をはじめとした外国語教育の推進や、海外研修・留学の支援に取り組みます。



安定した収入を得ながら
いきいきと働く人材が、
農業、産業、保健、医療、
介護、福祉などの
多分野で活躍しています。
飯南町が培ってきた
産業が守られ、
さらに振興しているだけでなく、
分野を超えた連携も促進され、
新たな産業も創出されています。
また、いきいきと輝く人材が
新たな転入者をひきつける
好循環が生まれています。

10年後の飯南町の姿

豊かな地域資源を生かし「飯南のブランド力」を高め、
次世代の担い手を確保します！

医療や福祉事業の人材確保や、
特定地域づくり事業協同組合の設立支援などにより、
担い手不足の解消に取り組みます！

実現への取り組み

飯南ブランドの構築

「日本一の大しめ縄のまち 飯南町」をテーマに、しめ縄の商品開発をはじめ、特産品開発、農産品の販路の拡大をもって飯南町の知名度の向上とブランド力を高めていきます。

農林業の担い手確保

農業を志し、飯南町に定住を希望する方を「農業定住研修生」として受け入れます。また、林業への興味関心を高めるため、林業体験、木材活用体験、研修会を開催します。

農業経営安定の支援

米のブランド化を図り販売促進に取り組むとともに、雇用の受け皿となる農業法人、特定地域づくり事業協同組合等の設立に取り組みます。

新たな働き方の推進

在宅勤務やテレワーク、短時間勤務など、新たな働き方や雇用形態を導入する企業を支援します。

取り組みの具体例

目標とする値

町民税
納税者数

2018年度

2,177人

2024年度

2,300人

定住計画

飯南町の「つながり」や
子育て環境、
仕事環境の価値に
気付いた若者が転入し、
地域に根付いた暮らしを
始めています。
まちに賑わいが生まれ、
産業や伝統文化も
伝承されています。

10年後の飯南町の姿

人口減少対策を最重要課題の一つとして、地域とともに、
UIターナーの受け入れに積極的に取り組めます！

教育や医療、子育てに関する事業と連携し、
子育て世代の移住を推進します！

今住んでいる住民が
住みやすい生活環境を整えます！

実現への取り組み

子ども医療費の無料化

中学生以下の子どもの医療費無料化を継続します。

定住支援センターの強化

定住に関する専門人材を配置し、定住者の相談や定住に関する情報発信を推進します。

地域による UI ターン対策支援

集落計画をもとに、UIターナーの受け入れ、定住対策の取り組みをする地域を支援します。

交通確保対策の推進

デマンドバスの運行やタクシー助成など、住民ニーズに即した交通確保に取り組み、自動運転の導入などを検討します。また、自治会輸送など集落間の円滑な移動を支援します。運転免許を有しない方や病気により運転できない方、運転に対して不安があり運転免許を自主返納された方などの移動の支援をします。

定住の支援

新築・増築・購入などの住宅整備や子育て世代の経済的支援、三世代家族に対する支援を充実します。

取り組みの具体例

社会増減数

2015年～2019年(平均値)

±0人/年

2020年～2024年(平均値)

+5人/年

目標とする値